
ネットショップシステム

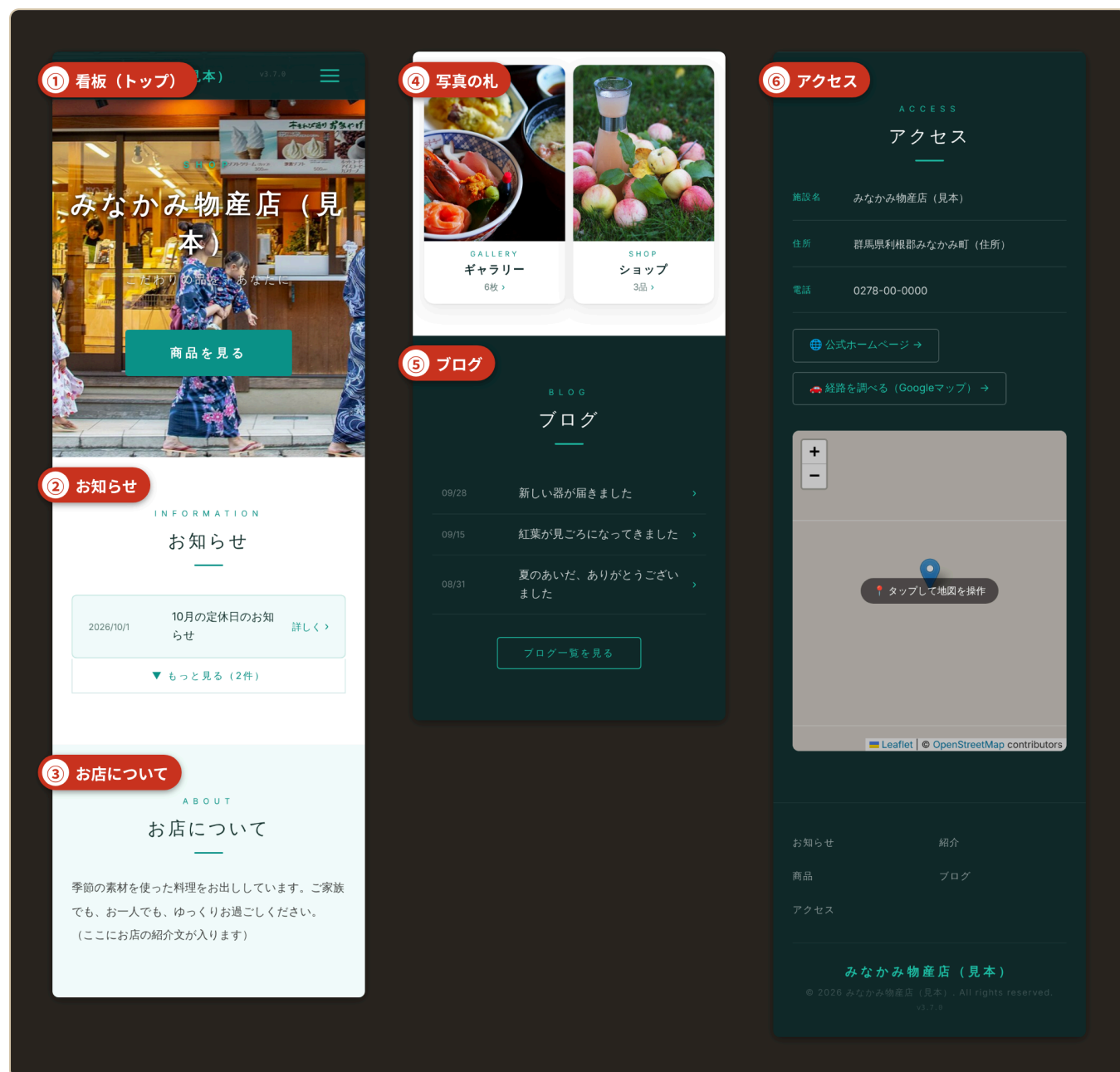
かんたん説明書

グッズ・食品・雑貨などの商品を、在庫管理つきで
ネット販売するためのシステムです。

1. お客さまのページでどう見えるか	2
2. ホームページを立ち上げる	5
3. お客さまの流れ	6
4. 商品の作り（親とサイズ）	7
5. 在庫の減るタイミング	8
6. 在庫管理票と棚卸	9
7. バーコードとラベル（カメラで読む）	12
8. 注文コード	15
9. オーナー画面のタブ	16
10. はじめる順番	17
11. 続けて書く：お知らせ・ブログ・ギャラリー・SNS	18

1. お客様のページでどう見えるか

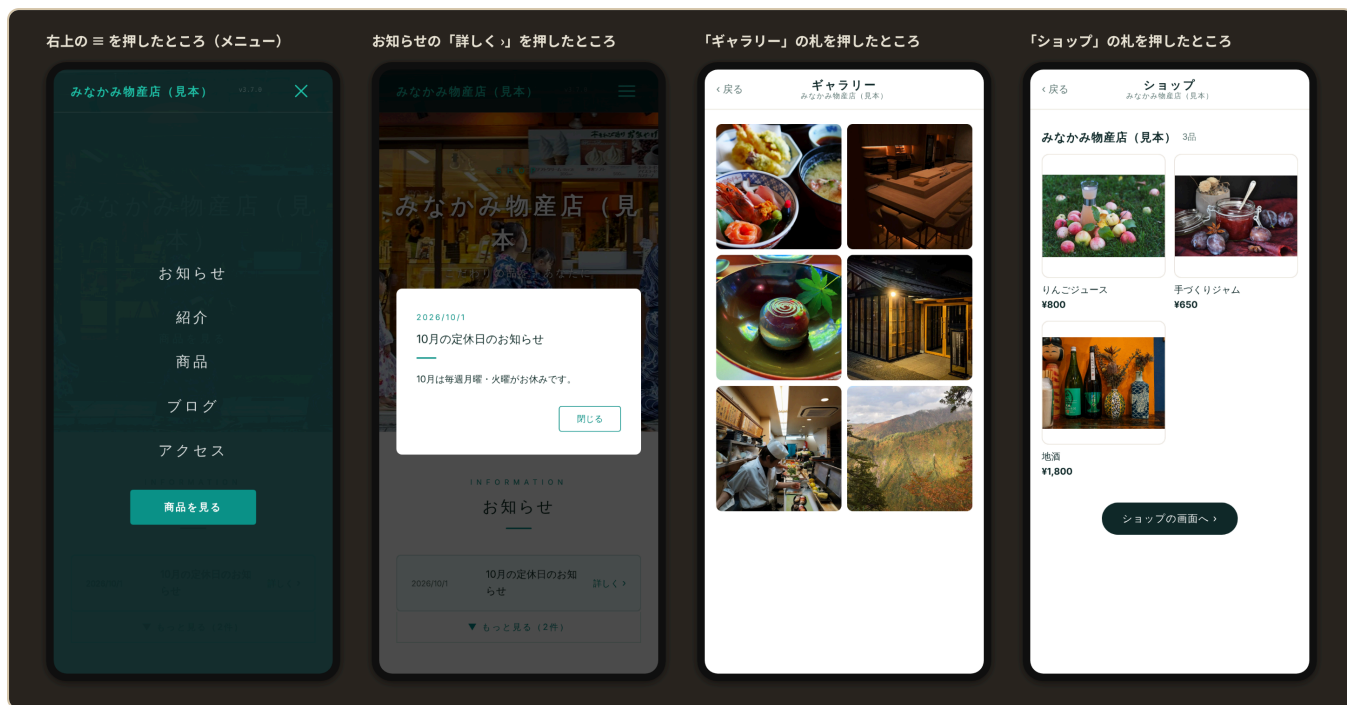
はじめに、お客様がスマホでお店のページを開いたときの見え方です。ページは縦に1枚で、上から欄が並びます（下の絵は長いので3列に折り返しています）。番号は下の表と同じです。



何も変えていないときの並び（ショップの標準）。写真と文は見本です（写真はネットの使ってよい写真を借りています。出典）。絵を押すと大きく開きます。

欄	お客さまに見えるもの／どこで入れるか
① 看板 (トップ)	大きな写真 (スマホでは画面の半分ほどの高さ)、店名、「SHOP」と一言、「商品を見る」ボタン (④へ飛びます) ／ 写真は「ホームページ管理」→「画像」のトップの写真 (5枚まで。2枚以上は1枚5秒で入れ替わります)。写真の上に大きく出す言葉は「紹介」の写真の上に出す言葉 (入れたときだけ。入れると店名はその下に小さく出ます)。上のナビの左には「画像」のロゴが出ます (無ければ店名の字)。ボタンは自動で出ます。④を外すと「商品を見る」も消えます
② お知らせ	いちばん新しい1件と「もっと見る」。「詳しく」を押すと中身が開きます ／ 「ホームページ管理」→「お知らせ」 (11章)
③ お店について	お店の紹介文。空のときは「ただいま準備中です。」と出ます ／ 「ホームページ管理」→「紹介」の「お店の紹介文」
④ 写真の札	ギャラリーとショップの札が横に並びます。札を押すと、そのページに切り替わります (上に「戻る」。ブラウザの戻るでも札に戻ります)。ギャラリーのページは写真の一覧で、写真を押すと大きく開きます。ショップのページは、この店の品 (姉妹店があれば、その品も色の違う板で) が並び、品を押すと品の画面、下の「ショップの画面へ」でかご・支払いへ進みます。「設定」タブの「ネットで買う」を OFF にすると、ショップのページの棚に「いまは見るだけ」と出ます (3章) ／ ショップは「商品管理」タブで作り、公開設定を「公開する」にした商品 (4章)。1つも無いとショップの札は出ず、今までの「商品紹介」の欄 (「商品は準備中です」) が出ます。ギャラリーは「ホームページ管理」→「ギャラリー」 (11章)
⑤ ブログ	新しい順に10件と「ブローグー覧を見る」。記事ごとのページがあります ／ 「ホームページ管理」→「ブログ」 (11章)
⑥ アクセス	店名・住所・電話、「公式ホームページ」「経路を調べる (Googleマップ)」のボタン、地図 ／ 住所と電話は「設定」タブ、公式ホームページは「ホームページ管理」→「紹介」。地図は運営がお店の位置を入れると出ます (入っていないと「座標未設定」と出ます)

欄を押した先は、こう見えます。いちばん下には、同じ欄へ飛ぶ文字のメニューと店名が出ます。



メニューに出るのは、ページにある欄だけです（お知らせ・紹介・商品・ブログ・アクセス）。ギャラリーはメニューに出ません。欄を外すとメニューからも消えます。

「ショップで買い物する」「詳細・購入はこちら」を押した先（商品一覧・カート・お支払い）は3章にあります。

姉妹店から来たお客さまには、戻るボタンが出ます。

姉妹店のページの「姉妹店」のボタンや「姉妹店」の欄から来たお客さまには、写真のすぐ下に「← ○○ に戻る」（「姉妹店」の印つき）が出ます。ほかから来たお客さまには出ません。

2. ホームページを立ち上げる

順番にやれば、人に見せられるページになります。どれもオーナー画面（</owner/login>）から入ります。

1. ページの並びを決める 「ホームページ管理」→「構成・見た目」の「ページの構成」。1章の欄が並んでいます（③は「紹介」、④の札のギャラリーは「陳列ギャラリー」という名前で出ます。札は「商品紹介」と「陳列ギャラリー」のうち上にある方の場所に出ます）。チェックを外すとその欄が消え、↑↓で順番が変わります。看板は外せず、いつも先頭です
2. 色と分類を決める 同じ画面の「カラーテーマ」（「自動」はショップの標準の色）、「一覧での分類（テーマ）」、犬連れの可否（「犬（わんこ同伴OK）」・「補助犬 同伴可」）。終わったら「設定を保存する」
3. お店の紹介を書く 「ホームページ管理」→「紹介」。お店の紹介文（③に出ます）と公式ホームページURL（⑥に出ます）。「設定を保存する」。トップの写真の上に言葉を出したいときは、同じ画面の写真の上に出す言葉に書いて「設定を保存する」（①に大きく出ます。80字まで・改行できます）。
4. 住所と電話を入れる 「設定」タブの「住所」「電話番号」（⑥に出ます）
5. トップの写真を入れる 「ホームページ管理」→「画像」のトップの写真。5枚まで入れられ、2枚以上なら1枚目から順に1枚5秒で入れ替わります。写真ごとに「替える」「← 前へ」「後へ →」「外す」があります。横長の写真がおすすめです。選んだ写真はその場で保存されます。
同じ画面のロゴを入れると、ページの上のナビの左に、店名の字の代わりにロゴが出ます（背景が透明な PNG がおすすめ）。
6. 商品を並べる 「商品管理」タブで商品を作り、公開設定を「公開する」にする（④のショップの札に出ます。作り方は4章）
7. ギャラリーに写真を並べる 「ホームページ管理」→「ギャラリー」。商品・店内・外観など。書き方は11章
8. 最初のお知らせを1本出す 「ホームページ管理」→「お知らせ」（11章）
9. ブログを書く 「ホームページ管理」→「ブログ」（11章）
10. お客様の目で確かめる お店のページ [https://\[お店の名前\].pensions-yoyaku.com/](https://[お店の名前].pensions-yoyaku.com/) をスマホで開き、上から順に見る

ここまでで、お店のページは人に見せられます。実際に売るには、Squareの連携と注文通知のメールが要ります（10章 はじめる順番）。

3. お客様の流れ

1. 商品一覧を見る `/shop`
2. 商品を押して詳細へ。サイズと数量、ご要望（色・サイズ感など）を入れてカートに入れる
3. カートで内容を確認、お客様情報を入れる
4. オンライン決済で払う
5. 注文確定の画面と、注文番号が出る

URLの形	<code>https://[お店の名前].pensions-yoyaku.com/shop</code>
カートの中身	お客様の端末に保存されます。ページを閉じても残ります
メールアドレス	「（注文確定メールを受け取る場合）」と出ます。入れなくても買えます
備考	カートで注文全体への備考を書けます。商品ごとの「ご要望」とは別です

姉妹店の品も、1つのかごで一緒に払えます。

「設定」タブの「 姉妹店の品も一緒に払う」を ON にした店のショップでは、姉妹店の棚の品もその店のかごに入り、お客様は合計を1回で払います。棚は店ごとに分かれたまま、かごでは店ごとに小計が出ます。

・代金は、かごのある店の Square にまとめて入ります（Square をつないでいない店は、まとめて店頭で現金）。

・注文は店ごとに分かれて、それぞれの店の「物販注文」に出ます。在庫もそれぞれの店で減ります。注文の上に「 一緒に払った注文です」と、代金が入った店が出ます。

・一緒に払えるのは、姉妹店の「ネットで買う」が ON の品です（姉妹店が登録前でも同じです）。OFF の品は、その店の画面で見ただけです。

同じ会社で売上をまとめている姉妹店のときだけ ON にしてください。

Square をつないでいない店は「店頭で現金」で注文を受けます。

お客様はカートで「 現金で払う」を押し、「いまお店にいる」（レジで払う）か「置き置き」（取りに来る日を選ぶ。開いている日で3日まで）を選んで注文を確定します。確定したときに在庫が減り、店とお客様にメールが届きます。期限までに渡さなかった注文は、自動で取り消して在庫を戻します。

Square をつないだ店は、今までどおりネットでカード払いです。

ネットで売らずに、商品を見せるだけでもできます。

「設定」タブの「ネットで買う」の「ネットで買えるようにする」を OFF にして「設定を保存する」。

お客様は商品一覧・詳細で写真・値段・サイズを見られますが、数量・カートに入れる・支払いのボタンは出ません。代わりに「いまはネットでは買えません。商品はお店で求めください。」と出ます。前にカートに入れていた物があっても、注文は受けません。

Square をつなぐ前や、見本の商品を並べている間に使います。ON に戻すと、すぐには買えるようになります。

4. 商品の作り（親とサイズ）

商品は2階建てです。ここが分かれば設定で迷いません。

親（商品そのもの）

商品名・品番・価格・商品画像・商品説明・性別・公開設定。値段は親が持ちます。

子（サイズごと）

サイズ・在庫・バーコード。在庫はサイズごとに持ちます。

サイズはフリー・JS～LLL から選びます。一覧に無いサイズ（XL・靴の 26・子どもの 140・お試しセットの種類など）は、「ほかのサイズ」に書いて「足す」。

性別	メンズ / レディース / ユニセックスから選びます
品番	お店が付けている番号（例 MD-T001）。オーナー画面と在庫管理票にだけ出て、お客さまには出ません。1つのお店に同じ品番は1つだけです（6章）
公開設定	公開しないと一覧に出ません
サイズが1つでも	子を1つ作ります。在庫はそこに入ります
「残りわずか」	その商品の全サイズの在庫を足して3以下になると、一覧に赤字で出ます

値段はサイズごとには変えられません。親が1つの価格を持ちます。

サイズで値段を変えたいときは、商品を分けて作ってください。

5. 在庫の減るタイミング

在庫は「注文したとき」ではなく「支払いが終わったとき」に減ります。

カートで注文を送った時点では足りているかを見るだけで、数は減りません。

ただし Square をつないでいない店（店頭で現金）は、注文を確定したときに減ります（3章）。

この作りには、良い面と気をつける面があります。

良い面	払わなかった注文で在庫が減りっぱなしになりません。カートに入れて放置されても商品は売れる状態のままです
気をつける面	最後の1点を2人が同時に買ってしまうことが理屈のうえではあります。2人とも支払いまで進むと、在庫がマイナスになります

小さいお店を前提にした割り切りです。実装のメモにもそう書いてあります。

数が少なくて奪い合いになる商品は、「残りわずか」が出たら一度非公開にするのが安全です。

在庫が足りないまま注文しようとすると、その場で「○○（サイズ）は在庫が不足しています（残り N）」と出ます。

ネットで売れて減った分は、在庫管理票の記録にひとりでの載ります（注文番号つき）。

お店のレジで売れた分は減りません。在庫管理票で「店で売れた」を打って減らします（6章）。店員画面でバーコードを読んで減らすこともできます（7章）。

Square の店の、払われないままの注文は残り続けます。

旅館とレストランには「期限までに払わないと自動キャンセル」がありますが、ショップの Square の注文には入っていません。要らなくなった注文は、お店で判断してください。

店頭で現金の注文は、期限までに渡さなければ自動で取り消して在庫を戻します。

6. 在庫管理票と棚卸

品番ごと・サイズごとの数を1枚の表で見て、いつ・何枚・なぜ増えたか減ったかを記録に残します。
オーナー画面の「商品管理」タブを開き、上の「在庫管理票」に切り替えます。

商品管理 > 在庫管理票

入荷

店で売れた

数え直し

品番・商品名	S	M	L	計
MD-T001 ロゴTシャツ	3	0	5	8
MD-C001 キャップ	—	8	—	8

大きい数字が今の数。その下のマスに、入ってきた数・売れた数・数えた数を打ちます。

毎日の記録

入荷	入ってきた枚数を打ちます。今の数に足します
店で売れた	お店で売れた枚数を打ちます。今の数から引きます。お店のレジとはまだつながっていないので、ここで打って減らします（バーコードを読んで記録するときは7章）
数え直し	数えた枚数を打ちます。今の数をその数にします
ひとりでに載るもの	ネットで売れた分（注文番号つき）と、商品の画面で数を直した分。打たなくてかまいません

マスに数を打ち、メモ（例「10月分の入荷」）を書いて「**〇〇を記録する**」。下の「最近の記録」に、日時・種類・増減・あとの数・メモが並びます。

月ごとの表

「月ごとの表」で月を選んで「開く（印刷・Excel）」。品番・サイズごとに月初・入荷・店で売れた・ネットで売れた・棚卸・数え直し・直し・月末が並びます。
上に出力日（印刷・保存した日）と、その月の棚卸日が出ます。「印刷する」と「Excelで保存」があります。

棚卸（月に1回など）は Excel の表で

1. 「商品と在庫の表（Excel）」の「表を保存（.xlsx）」を押す。上に出力日（今日）が入った表が保存されます
2. お店の品を数え、表の「棚卸日」に数えた日（例 2026/10/31）、「棚卸の数」に数えた数を書いて保存する
3. 「直した表を入れる」でその表を選ぶ。入れる前に、記録の数と数えた数の差・新しい商品・直す所が出ます
4. よければ「この内容で入れる」

出力日	表を作った日。「出力日の数」はその日の数で、入れても使いません（見比べるためのものです）
棚卸日	その日の閉店後の数として記録します。棚卸日のあとに売れた・入荷した分は、そのまま足し引きして今の数にします。 なので、月末に数えて、次の月に入れても数はずれません。棚卸日が空のときは、入れた時の数にします
棚卸の数が空の行	数を変えません
月ごとの表では	棚卸日の月の「棚卸・数え直し・直し」に入り、上の「棚卸日」にその日が出ます

Excel の表で商品を直す・足す

直せるもの	品番・商品名・値段・公開（公開／非公開）・バーコード。空の欄は変えません
新しい商品	下に行を足して、品番・商品名・値段・サイズを書きます（サイズごとに1行。いちばん右の ID は空のまま）。 写真を入れるまで非公開で作ります。あとで「商品管理」で写真を入れ、公開にしてください
新しいサイズ	その商品の行を足してサイズを書くと、サイズが増えます
サイズの書き方	フリー・JS・JM・JL・SS・S・M・L・LL・LLL（表の中で選べます。2L・3L も読めます）。一覧に無いサイズ（XL・26・140 など）は、そのまま書きます
消すこと	表に無い商品やサイズは消しません。消すのは「商品管理」の商品の画面から

表にまちがいがあると、1つも入りません。どの行の何がまちがいかが出るので、表を直してもう一度選んでください。

いちばん右の ID は商品の見分けに使います。消したり、ほかの行にコピーしたりしないでください（新しい商品の行は ID を空に）。

Excel で開いて、そのまま保存してください（.xlsx のまま）。CSV で保存したものも読めますが、CSV にするとバーコードのような長い数字が **4.9E+12** の形にこわれることがあります。

7. バーコードとラベル（カメラで読む）

品番×サイズごとにバーコードを1つ持たせると、店員画面の「在庫を読む」で品のバーコードを読み、入荷・店で売れた・数え直しを記録できます。

記録は6章の在庫管理票と同じものです。SUNMI V2 ならカメラで読めます。

オーナー画面の「商品管理」タブを開き、上の「バーコードとラベル」に切り替えます。

商品管理 > バーコードとラベル

店の番号を付ける（番号の無い
サイズ3）

☐ ラベルを刷る →

品番・商品名	サイズ	在庫	バーコード	
MD-T001 ロゴTシャツ	M	5	20000000000015	店の番号
BR-C010 キャップ	フリー	8	4901234567894	JAN

バーコードは表の欄に打つか、リーダーで読んで入れます。右に「店の番号」「JAN」が出ます。

バーコードを付ける

ブランドの値札に JAN があるとき	その数字（13桁か8桁）を表の「バーコード」の欄に打ちます。欄から離れると保存します。 パソコンに USB のバーコードリーダーをつないで読んでも入ります（読むと次の行の欄へ進みます）。 店員画面で読んで、品とサイズを選んで「付ける」こともできます（下の「店員画面で読む」）
無いとき	「店の番号を付ける」を押すと、番号の無いサイズに20で始まる13桁の番号が付きます。 20で始まる番号は、お店の中だけで使う決まりの番号です。ブランドのJANと重なりません。 ブランドのJANがある品は、先にその番号を打ってから押してください
1つの番号は1つのサイズだけ	ほかのサイズで使っている番号を打つと「その番号は〇〇で使っています」と出て、保存しません
まとめて入れる	在庫管理票の Excel の表の「バーコード」の欄でも入れられます（6章）

ラベルを刷る (A4 のラベル用紙)

「**ラベルを刷る** →」で、ラベルを刷る画面が別のタブで開きます。ふつうのプリンター（インクジェットでもレーザーでも）で刷れます。

用紙	44面 (4列×11段・1枚 48.3×25.4mm) エーワン 72244 など 24面 (3列×8段・1枚 66×33.9mm) エーワン 72224 など ほかの用紙は「 自分で決める 」で列・段・寸法を打ちます
ラベルの中	商品名・サイズ・品番と、バーコード（下に数字）。「 値段を入れる 」と「 QR も入れる 」は選べます
刷る枚数	はじめは 今の在庫の数 が入っています。「 全部 1枚 」「 全部 0 」のボタンと、1行ずつ直す欄があります
何枚目から	使いかけの用紙の続きから刷るときに、空いている最初のマスの番号を入れます

1. 「**枠だけ刷る (位置を確かめる)**」で、ふつうの紙に枠だけを刷る
2. その紙をラベル用紙と重ねて光にすかし、ずれを見る
3. ずれていたら「**位置の直し：右へ mm**」「**下へ mm**」を直して、もう一度枠だけ刷る（この値はこのパソコンが覚えていますが）
4. 合ったらラベル用紙を入れて「**印刷する**」

印刷の画面で「**倍率 100% (実際のサイズ)**」と「**余白なし**」を選んでください。

「用紙に合わせる」にすると小さくなり、ラベルの枠からずれます。

店員画面で読む

店員画面 [https://www.pensions-yoyaku.com/staff/\[お店の名前\]/stock](https://www.pensions-yoyaku.com/staff/[お店の名前]/stock) の「**在庫を読む**」で読みます（オーナー画面の「**バーコードとラベル**」にこのお店の開く所が出ています）。

入るにはスタッフ画面の **PIN** が要ります。オーナー画面の「**PINと端末の管理**」で決めてください。

1. 「**入荷**」「**店で売れた**」「**数え直し**」のどれかを選ぶ
2. 品のバーコードを読む。読むたびに、その品とサイズが1枚ずつ増えます（-・+・×で直せます）
3. 「**〇〇を記録する (〇枚)**」を押す

入荷	読んだ数だけ増やします
店で売れた	読んだ数だけ減らします

数え直し	読んだ数を 今の数 にします。読まなかったサイズは変えません
品の分からない番号	まだどの品にも付いていない番号を読むと「 品の分からない番号 」に出ます。品とサイズを選んで「 付ける 」と、次からはその番号で読めます（番号の無いサイズにだけ付けられます）

読む道具

SUNMI V2 (カメラ)	V2の「まるレジプリンター」のアプリ（0.3.0から）で、はじめの画面の「在庫を読む（カメラでバーコード）」を押します。 「 カメラで読む」を押すとカメラが開きます。バーコードを緑の枠に入れると読み、ピッと鳴って名前が出ます。続けて読めます。 同じ品を2枚読むときは、一度カメラから外し、1秒ほどしてからもう一度入れます。暗いときは「ライト」、読みすぎたら「1つ戻す」。 「終わる」で店員画面に戻り、読んだ品が並びます。 はじめて開いたときにカメラを使ってよいかを聞かれるので「許可」を押してください
パソコン・スマホ・タブレット	USB や Bluetooth のバーコードリーダーをつないで、店員画面の「ここを押してリーダーで読む」の欄で読みます。 リーダーが無いときは「 打つ」で数字を打てます

アプリが古いと「 **カメラで読む**」は出ません。V2の「まるレジプリンター」を **0.3.0** に入れ直してください（入れ方は前と同じで、パソコンから USB で入れます）。

ラベルプリンター（テープで刷る機械）について

バーコード専用のプリンターは**要りません**。全部の品に貼るのは、上の**A4のラベル用紙**がいちばん手軽で安く済みます。

ブラザー ピータッチキューブ PT-P300BT など	スマホのアプリ（iPrint&Label）から JAN のバーコードを刷れます。 ただし、1枚ずつスマホで番号を打って刷ります（まるごとレジからまとめて送ることはできません）。QR は刷れません。テープは 12mm 幅までで、バーコードの高さは 9mm くらいと小さめです
向いている使い方	値札がはがれた・数枚だけ貼り直す、というときの貼り直し用。新しく入った品をまとめて貼るのは A4 のラベル用紙で

8. 注文コード

注文には **S** で始まる**8文字**のコードが付きます。



お客さまに伝えるのはこの番号です。

紛らわしい文字は使っていません。

0（ゼロ）・**O**（オー）・**1**（イチ）・**I**（アイ）は使いません。電話で読み上げても間違いにくいようにしてあります。

9. オーナー画面のタブ

ショップのタブは4つです。全業種の中でいちばん少ない構成です。



予約が無いぶん、タブが少なくて済みます。

商品管理	商品の登録・編集・削除。商品名・品番・価格・画像・説明・性別・公開設定と、サイズ・在庫・バーコード。 上の「在庫管理票」で、入荷・店で売れた・数え直しの記録、月ごとの表、Excelの表での棚卸と商品の追加（6章）。 上の「バーコードとラベル」で、サイズごとのバーコード・店の番号・A4のラベル（7章）
物販注文	注文の確認。月ごとに並びます。氏名・電話番号・注文コード・会員番号で探せます。購入内容・メモも見られます。 姉妹店の品と1回で払った注文には、上に「🛒一緒に払った注文です」と出て、「詳細」で店ごとの金額と合計が見られます（下の囲み）
ホームページ管理	ページ構成・トップの写真（5枚まで）・カラーテーマ・公式URL・お店の紹介と、お知らせ・ブログ・ギャラリー・SNSに流す（2章）
設定	返信先メール・注文通知の受信メール・住所・電話番号・遠隔サポート・Square連携・ネットで買う（OFFで見せるだけ。3章）・姉妹店の品も一緒に払う（姉妹店がある店だけ。下の囲み）

お客さまへの連絡は注文の行からできます。

☎ 電話 / 💬 SMS / ✉ メールがその場に並んでいます。番号を書き写す必要はありません。

10. はじめる順番

1. 設定で **Square** を連携する → これが無いと売れません
2. 設定で注文通知の受信メールを入れる
3. 商品管理で商品を作る（親）
4. その商品にサイズと在庫を足す（子）
5. 商品を公開する → 一覧に出る

商品が多いときは、Excelの表でまとめて入れられます。

在庫管理票の「表を保存 (.xlsx)」で表を出し、下に品番・商品名・値段・サイズ・数を書いて「直した表を入れる」。写真はあとで1つずつ入れて、公開にします（6章）。

店でバーコードを読んで記録するなら、商品を入れたあとに「バーコードとラベル」で番号を付けてラベルを貼り、「PINと端末の管理」でスタッフ画面のPINを決めます（7章）。

Square をつなぐまでは、ネットの注文は「店頭で現金」になります。

お客さまはネットで注文を確定し、お金は店で受け取ります（いまお店にいる＝レジで、置き置き＝取りに来たときに）。ネットでカード払いにするなら**1番を先に**やってください。

商品だけ見せて注文は受けないときは、「設定」の「ネットで買う」をOFFにしておきます（3章）。

注文通知のメールアドレスは必ず入れてください。

ここが空だと、注文が入ってもお店には何も届きません。オーナー画面を開くまで気づけません。

11 ホームページ共通① お知らせとブログを書く

お知らせ・ブログ・ギャラリーは、どの業種のお店でも書き方が同じです。オーナー画面の「ホームページ管理」から書き、「公開する」にして保存すると、お店のページ [https://\[お店の名前\].pensions-yoyaku.com/](https://[お店の名前].pensions-yoyaku.com/) に載ります。

■ お知らせを書く（「ホームページ管理」→「お知らせ」）

1. 「+ 新規投稿」を押す（「お知らせを投稿」の枠が出ます）
2. タイトル*と本文を書く
3. 公開設定を「公開する」にして、「投稿する」を押す

お店のページでは、いちばん新しい1件と「もっと見る」が出ます。「詳しく」を押すと中身が開きます。お知らせには写真を付けられません（なのでインスタには流せません）。

■ ブログを書く（「ホームページ管理」→「ブログ」）

1. 「+ 新規投稿」を押す
2. タイトル*（必ず入れる）と本文を書く
3. 写真（最大3枚）の「選ぶ」から写真を入れる
4. 公開日を決め、公開設定を「公開する」にして、「投稿する」を押す

お店のページでは新しい順に10件と「ブロッグ一覧を見る」が出ます。記事ごとのページがあります。直すときは記事の「編集」から。

「非公開（下書き）」のあいだは、お店のページにも「SNS に流す」にも出ません。インスタにも流したい記事は写真を入れてください（インスタと X に載るのは1枚目の写真です）。

11 ホームページ共通② ギャラリーと、SNS とつなぐ

ギャラリーに写真を並べる（「ホームページ管理」→「ギャラリー」）

写真と一言を並べて見せるだけの欄です。売り買いや予約はありません。料理・店内・作品など、何を並べてもかまいません。

1. 「+ 追加」を押す（1枚ずつ）。何枚もまとめて入れるときは「 まとめて追加（複数選択）」
2. 画像を選び、タイトル（一行）を書く。詳細（任意）は書かなくてもかまいません
3. 並び順（小さい数ほど前）と公開設定を「公開する」にして保存する

お店のページではスマホは2列、パソコンは3～4列に正方形の枠で並び、写真の下にタイトルが1行出ます。写真を押すと大きく開きます。まとめて追加した写真はタイトルが空なので、あとから「編集」で付けてください。詳細（任意）は今はお店のページに出ません。1枚も無いと「準備中です」と出ます。ギャラリーは SNS には流せません。

はじめに1回だけ：インスタと X をつなぐ（「ホームページ管理」→「SNS に流す」）

いちばん上につながり具合が出ます。LINE は「運営が設定します」と出て、お店がすることはありません。

1. 「インスタとつなぐ」（または「X とつなぐ」）を押す。新しいタブが開きます
2. お店のインスタ（または X）のアカウントでログインして「許可」を押す
3. 「つながりました。この画面を閉じてください。」と出たら、そのタブを閉じる
4. オーナー画面に戻ると「@お店のアカウント名 とつながっています」と出ます

インスタは、はじめに運営からの「テスターへの招待」を受けてください。招待を受ける前に押すと、許可の画面で止まります。インスタはプロアカウント（ビジネスまたはクリエイター）にしておいてください。「許可が切れています。つなぎ直してください」と出たら、もう一度「～とつなぐ」を押します。

11 ホームページ共通③ SNS に流す・決まり

流す（「ホームページ管理」→「SNSに流す」）

公開中のブログとお知らせが新しい順に並び、1つずつにボタンが付いています。

1. 流したい記事の下に「LINEにも流す」「インスタにも流す」「Xにも流す」のどれかを押す
2. 確認の枠の中身を読み、「流す」を押す（やめるときは「やめる」）
3. ボタンのところが「送信済み」などに変わります

LINE	今回届くグループと人数、0円が出ます。夜22時～朝8時に押すと朝8時に届きます。0円ですが送り放題ではありません（1か月200通まで無料。友だちを50人ずつのグループに分け、1回に1グループずつ届けます）
インスタ	1枚目の写真と文が載ります。写真が無い記事（お知らせ・写真なしのブログ）は流せません。写真はJPEGにしてください
X	リンクは付きません。1枚目の写真があれば付きます。1か月に100件までです
1つの記事は1回ずつ	同じ記事を同じ SNS に2回は流せません。流したあとに直しても、流した投稿は変わりません。直した内容で出したいときは新しい記事として書いてください

送信済み	届きました。インスタとXは「投稿を見る」で開けます
待ち／送信中	順番に送っています。少したってから開き直すと変わります
失敗（理由）	理由を読んで直してから「送り直す」を押す
要確認	送れたか分かりません。二重に出さないため自動では送り直しません。アプリを開いて確かめてください

ボタンが薄い色で押せないときは、その SNS がまだつながっていません。運営が画面を代わりに見ているとき（遠隔操作中）は流せないなので、お店の方が押してください。